

主要地方道 新居浜別子山線 新田橋



愛媛県

主要地方道新居浜別子山線は、新居浜市喜光地町を起点として別子山へ至る延長約3.2kmの幹線道路で、県の1次緊急輸送道路に指定されており、地域防災上、非常に重要な路線です。

当該路線の新田橋は、二級河川国領川水系足谷川に架かる橋梁で、昭和31年の道路橋示方書に基づき設計、昭和35年に建設された橋長97.1mの8径間単純コンクリートT桁橋であり、竣工後既に50年経過し橋梁の劣化が多数報告されているとともに、地震により落橋の恐れがあるため橋脚補強や落橋防止対策等の耐震対策が必要な橋梁でありました。

平成20年度に橋梁の耐震対策について基準への適合性、施工性及び安全性等について総合的な比較検討を行ったところ、既設橋の補強は適当でないとの結論に至り、最新の平成24年度道路橋示方書に基づき橋梁を架け替えることとなりました。また、橋梁西側の区間では、平成23年度から現況幅員の再配分を基本とした歩道整備を実施しており、歩道整備と一体的な整備を図った架け替えとなるよう、橋梁下流側にも歩道を設置し、両側歩道により歩行者等の安全な通行も確保するよう計画しています。

平成24年度から工事に着手し、平成28年9月に新橋が完成することとなり、橋の架け替えにより、大規模地震時に避難路や物資を輸送する道路として役割を果たすことが期待されます。

愛媛県

愛媛県

- (1) 大規模地震時の通行確保
- ①いつでも安全・安心に通行できる道路となります。
 - ②災害時の避難や救急救命、支援物資搬送及び復旧活動などを迅速かつ円滑に進めることができますようになります。
- (2) 歩行者・通行車両の安全確保
- ①両側への歩道の設置により歩行者の安全が確保されます。
- (3) 地域観光のシンボルにふさわしい景観への配慮
- ①新居浜太鼓台祭りの上部地区統一寄せにおける入場口として、地域観光のシンボルにふさわしい景観に配慮した橋梁となります。

旧橋の状況

上流より



三車一石屋

施工状況



旧橋撤去(1125年2月)



旧橋撤去(1125年7月)



新橋架け替え(1125年11月)



新橋架け替え(1125年7月)

